

# 人むすびの場

第4回テーマ “子どもたちの学びの応援”

日時	平成20年10月28日(火) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

# “人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすひ(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何か生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのため、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場をご一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。新しいアイデア・企画の提供などもろもろご意見をお待ちします。



# プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは  
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ「**子どもたちの学びの応援  
～仕事体験のプロデュース**」
- 19:40 ◆人むすびカフェ  
ファシリテーター 田中 尚武
- 20:55 ◆本日のまとめ
- 21:00 終了  
交流会(うさぎ)

# 「子どもたちの学びの応援 ～仕事体験のプロデュース～」

ゲストスピーカー 生重 幸恵 さん



子どもが親を変えるんです！

- 杉並区立小・中学校などの学校教育コーディネーターとしての活動を通して、子どもたちが、ニート、フリーターにならないように、心豊かな子どもの育成に関わる、これからの学校のカタチを考え、実践しています。
- 身近な地域の人々、社会、自然との関わり合いが大切で、地域の人材をつなぎながら、総合的学習の中で、子どもたちにホンモノの職業人との出会いをコーディネートしています。
- また、夢をかなえた大人に出会う、「ドリームズ・カム・トゥルー」や、職場体験を子どもたち自身がまとめたフリーペーパーJobJobの発行など、子どもたちが将来どんな職業につきたいか、自分の方向性を見つけることに役立つキャリアコーディネートにも取り組んでいます。
- 地域の中で、カづくで場をつくる必要があります。
- 大人が子どもの育ちを見守り、声をかけていくことや、親が自分を見せていくことが大切。
- 現役のおとなをつないで、「学びあう、補い合う」場をつくる。

【略歴】(特定非営利活動法人 スクール・アドバイスネットワーク 理事長)

杉並区内のPTA会長経験者とともに、平成14年に、「学校教育支援における地域活性化」を目的とするNPO法人を設立。杉並区教育委員会、東京都内各区の教育委員会とも連携。

さらには全国各地での「学校支援」「地域活性化」のプロジェクトに参画して、活動の範囲を広げ、平成19年には内閣府の地域活性化伝道師に任命された。

企業の持っているノウハウを学校授業に繋げるためのプログラム作成なども手がけている。





## 人むすびカフェ





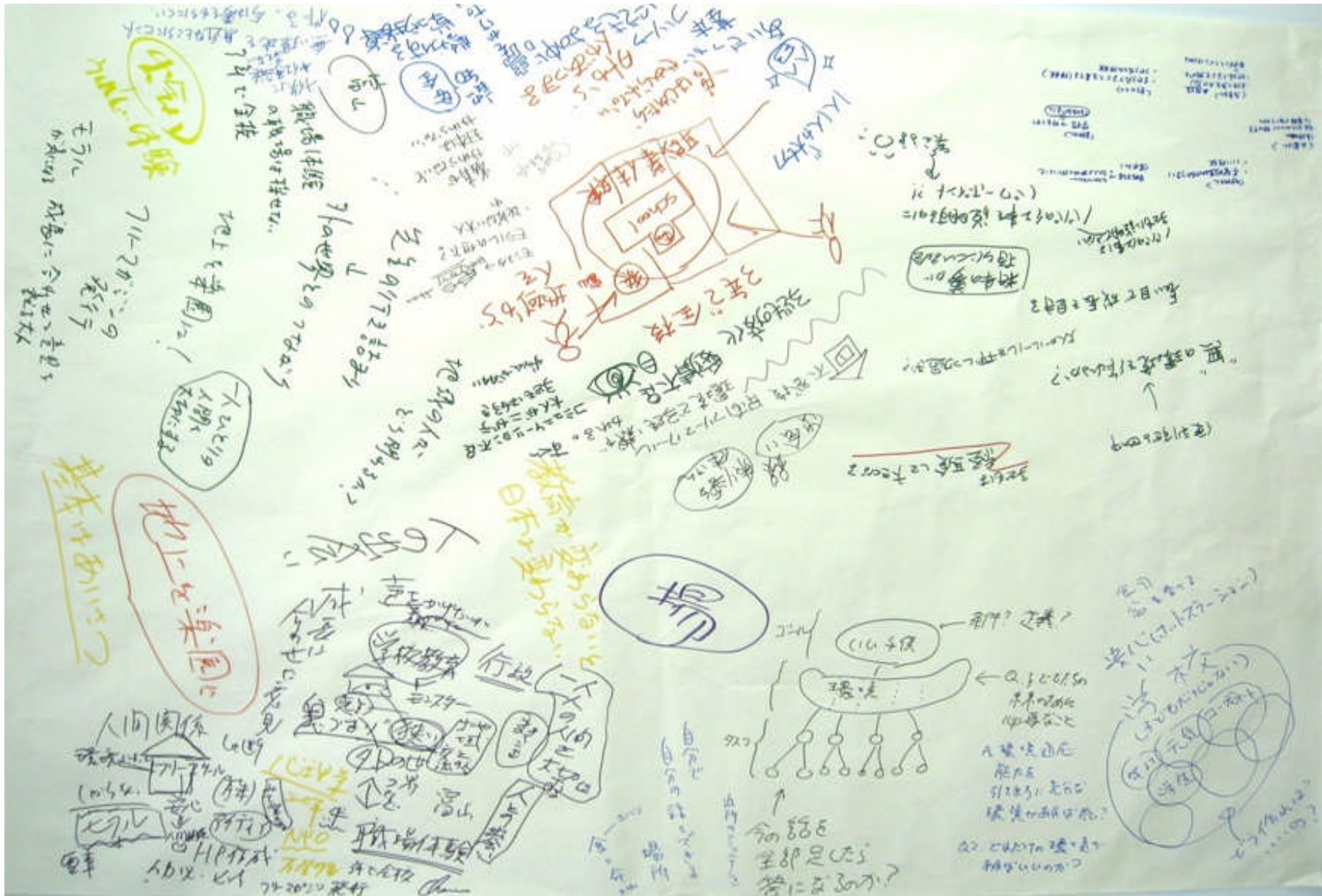
# 人むすびカフェ

「子どもたちの未来づくりにどんなことが必要でしょうか？またそのためにあなたに出来ることは何ですか？」



# 人むすびカフェ

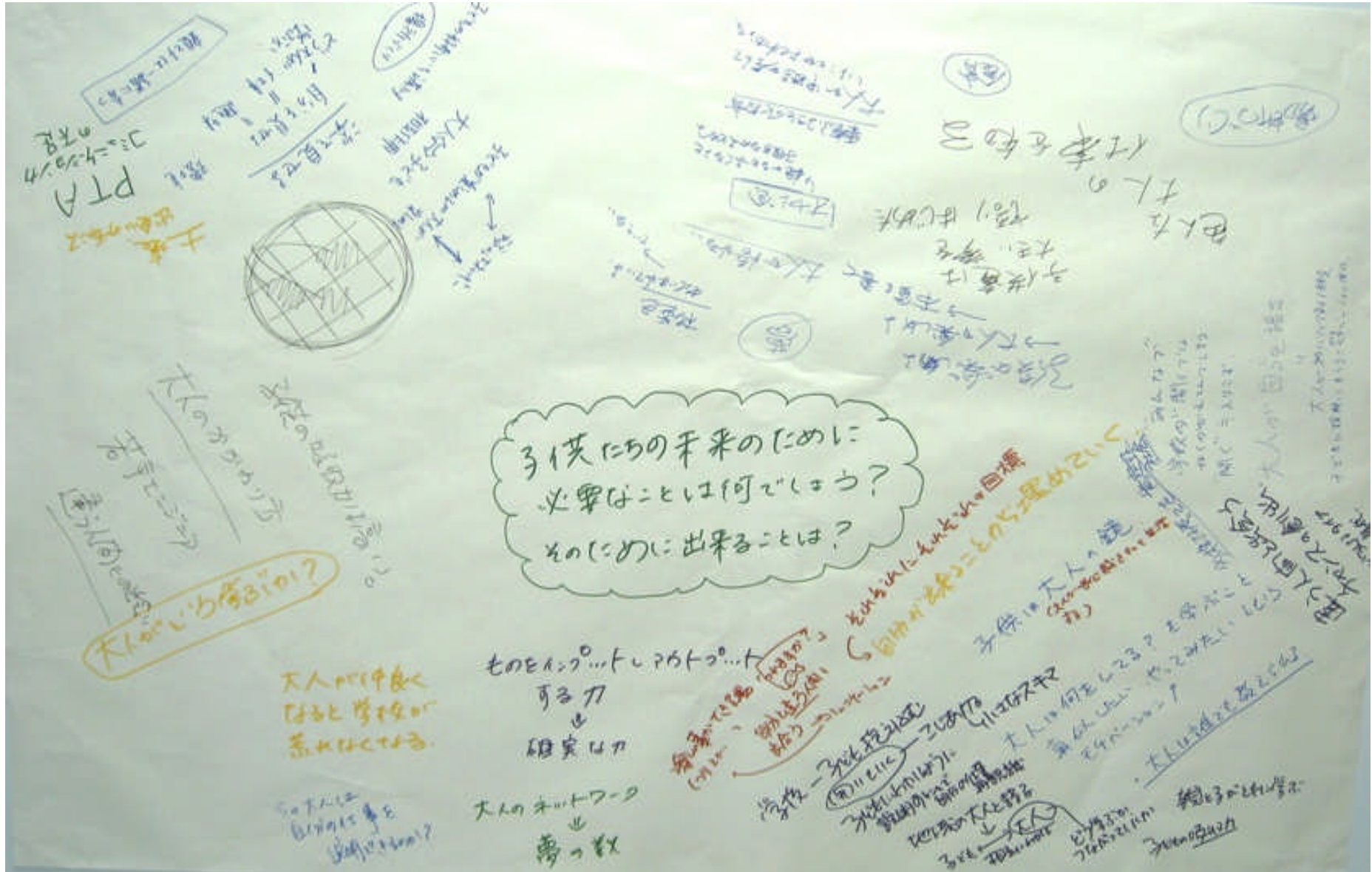
「子どもたちの未来づくりにどんなことが必要でしょうか？またそのためにあなたに出来ることは何ですか？」





# 人むすびカフェ

「子どもたちの未来づくりにどんなことが必要でしょうか？またそのためにあなたに出来ることは何ですか？」



子どもの未来に必要なこと & あなたに出来ること

**多様な考えを肯定する社会**  
子どもの成長の過程で潜在能力を引き出す  
地上に楽園を  
国力!?

**コミュニティ**  
無理やりつくる  
たくさんの大人のネットワーク  
コミュニティに引き込む努力

**大人のコミュニケーション**  
大人が仲良くなると学校が荒れなくなる  
親が仲良くなると子ども仲良くなる  
オヤジ会

**行政**  
一人ひとりを大切に  
狭い世界→先生の行き詰まり  
モンスターペアレンツ  
出会い  
本物を見せる  
外の世界とつなぐ職場体験  
教育は「先生」に任せる  
学校のハードルは高い  
教育が変わらないと日本は変わらない

**学校が変わること**  
開いていく  
小さなスキマをつくる  
こじ開ける  
子どもを抱え込む  
外の世界とのつながり  
地域の人々と語る  
子どもにわかるように語ることで、自分の仕事の再認識  
真似したい、やってみたいというモチベーション  
どう学ぶか、つながっていくか  
子どもと大人が相互にわかる  
安心の場へ(ホットステーション = 子どもだけではなく、お年寄りも)

**環境適応能力を引き出す**  
子どもは経験して大きくなる  
子どもの吸収力は高い  
ものをインプットし、アウトプットする力

**場づくり**  
違う人間と出会うチャンスの創出  
いろいろなタイプ/年齢~  
楽しいことができる場  
子どもの好奇心を満たす  
子どもにやりたいことをやらせる  
無闇に発想が出てくる  
吸収力を満たすバックアップ  
足の引っ張り合いを防ぐ  
親との時間  
親の育中を見せる場  
日常的に経験を引き継ぐ場  
就職までに適性を見る場

**親と子は一緒に育つ**  
親が自分を見せる  
どう学ぶか/仕事/趣味  
大人が待つ  
大人を信用すると発想が出てくる  
子どもが親を変える  
子どもが楽しめる=大人が楽しめる  
大人⇄子どもの相互作用  
子どもは親の鏡  
大人が夢を語る  
大人が媒介になって<喜び><夢>を支援する

**子どもとの本当のコミュニケーション**  
大人と関わるのが重要  
自分が子どもだったとき  
何が必要だったか?  
子どもの個性を理解してあげる場  
語らずに自然体験  
DSではなく畑が子どもの宝物  
基本はあいさつ  
地域の大人として声をかけてあげたい  
フラットな立場

# 本日の感想—①

## \* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・自分が子供だった頃を思い出した。
- ・昔とちがって一人でも生きていける世の中だから、コミュニティが崩かいした。これからは力づく(ある程度の)で新しいコミュニティを自分(大人)たちと子供たちのために作らないといけないのではないか・・・。
- ・子どもたちにたくさんの大人の姿を見せることの大切さ
- ・気をつけないとすぐ目の上目線で(自分ダ)はなしてしまうこと
- ・生重さんの実践には感銘しました。
- ・大人を変えるのは子供、これを強調しよう。
- ・皆 一生懸命生きてるネ！！真剣だネ！！ 皆 自分の考えを持ってるネ！！
- ・自分の興味を深くする良い経験となった。
- ・皆さん、熱い議論がスゴかったです。立場、目線の違う方とお話すると、今の社会の問題点がいろいろ見えるように思いました。
- ・大人は待つこと。
- ・いろんな人がいるなあー！
- ・子供の時の環境の重要さを再認識した。
- ・教育に興味を持つ大人が沢山いた、ということ
- ・皆、思いは同じなんだなということ、ただそれを形にすることはまだ手探りなのだということ、自分にできることって何だろうと改めて考えさせられました。
- ・あなたは子供とどうコミュニケーションをとれていますか。
- ・子供とのコミュニケーションをもっと。
- ・「一生懸命」に考える、「一生懸命」に人に伝える、「一生懸命」に聞く・・・う～ん いい時間でした。
- ・基本的な考え方は誰もほぼ一致している。
- ・子どもたちに対してしっかり自信を持ってない自分の存在
- ・あらためて、他の人の経験談は興味深いです。
- ・コミュニティの創出、チャンスの創出、どういう方法があるかの模索
- ・ゴールも問題点も定義されてなくても行動できる人は存在すると知った。(自分とは正反対のアプローチが学ぶべき点はある)
- ・場づくりから、小さな動きが生まれると、大きな変化につながりそう。

## 本日の感想一②

**\* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？**

- ・子育ての「場」づくり
- ・自分(大人)たちと子供たちのために作らないといけないのではないか……。
- ・場所を作る。
- ・「子育ては屋根瓦方式」 ←生重さんに座布団一枚！！
- ・土壌づくりが大切
- ・「子供の未来」ってなんだろう。
- ・いかに“巻き込む”か？
- ・出会いのチャンス
- ・“作る”こと
- ・「スベテのピースがうまりビジョンの共有がなされないと理解できない」という発言
- ・「問題が定義されるまで待ってられない」(自分なら的が見えなきゃ怖くて動けない)
- ・場
- ・大人どうしのネットワークを無理やり作る。(力づくで)
- ・「待つ」ということはむずかしいし大切だという事。待てるような体制がない。
- ・子育てのことを考えていくと、いくら時間があっても不足という感じですね。
- ・フラットな立場「子供目線」
- ・未来(絆・伝える)待つ。
- ・「子供が親を変える」という言葉
- ・大人は気がつけば子供より高い目線にいる。 大人も子どもと同じ目線で共に成長しよう！
- ・子供達からアイデアがでてくる。
- ・自責としての認識、自分でできることへの認識
- ・大人からの働きかけの重要性
- ・親の背中を子供はみている。

## 本日の感想ー③

**\* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。**

- ・今回のテーマは奥が深い。
- ・場所を作る。コミュニケーションをとる！
- ・みなさんのいろんな話はすべてうなづくことばかりでした。「おもしろい！！」のひとつです。
- ・テーマはもう少し絞ってみては？学校は変わるか？など
- ・様々な立場の方と自由に話せたことはとても良かったです
- ・新しい出会いがたくさんいただけで久しぶりに楽しかったです。
- ・自分の思いを言葉にすることは難しいと改めて感じました。
- ・皆さんがそれぞれ活動につなげて下さるとうれしい！
- ・自分が少しつかれてて、途中で電池が切れてしまいました。
- ・“子供”テーマでこれだけ色々話せるんだと新鮮でした。これも無理やりの「場」ですね。
- ・具体的な「戦略」こそ必要！！そのプロセスが知りたい、話し合いたい。
- ・十分話切れませんでしたね。
- ・これをプロジェクトにしたい。少し事例を知りたいのでは。
- ・一人一人違うということ！！がすばらしい💖
- ・多くの考えに触れることができたのが収穫だった。
- ・生重さんにお会いできて良かったです。
- ・多くの方とめぐりあえて大変良かった。
- ・沢山話せて、頭の中にエネルギーいっぱいになりました。

**皆さん、一緒に場をつくってくださってありがとうございました。**